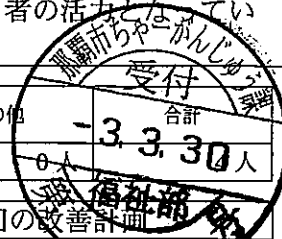


小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人おもと会	代表者	石井 和博	法人・事業所の特徴	令和元年8月に1年7カ月休止していた事業所が再開。建物の2階に位置し、新たな環境のもと職員と利用者の楽しい集いが始まりました。明るく広々としたデイルームやベランダには、近くの保育園児たちの大きな声が聞こえて利用者の活力となっています。
事業所名	小規模多機能ホーム寄宮	管理者	稲嶺 達男		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他
	1人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	2人	0人



項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	11月末までに事業所自己評価の集計を実施。12月全職員で再考し、1月の運営推進会議で意見を頂く。2月意見を職員で改めて話し合う。3月での報告を行う。	職員のみや少人数での運営推進会議の開催の結果、どの程度の取り組みを行ったか報告がしっかりと出来ていない。 ・新規職員が多く、日々のミーティングの中で小規模多機能の仕事を理解できるようにと、各種基準などの説明に時間を割いた結果、全職員での話し合いが十分ではないように思えた	改善計画に至るまでのできている点や出来ていない点を、詳細に分析を行い改善計画へと結び付けた方が良い。	・職員への自己評価のあと、職員から一言コメントを集め、それをサービス評価の出席者に見てもらおうことで、どのくらい意見が反映されているかなどを確認してもらう。
B. 事業所のしつらえ・環境	・ハード面の美化活動として委員会を立ち上げ、どのように実施するかを話し合い実践する。・季節ごとの室内の飾り付けを行う。	・担当者を決め建物廻りの美化活動や飾り付け等をおこなった。 ・地域の保育園児にも見てもらいたくベランダの飾り付けも実施した。	・利用者やその家族からは新しく、とても開放感があると話される。 ・2階のベランダの飾り付けを年中実施。地域の保育園児から喜ばれたり他の地域の方々から、度々飾り付けの件で、声掛けがある。 ・職員が好きな季節の花を植えている	・継続し、建物廻りの美化活動やデイルームへの飾り付けを行う。
C. 事業所と地域のかかわり	・年間計画を立て地域の保育園に参加依頼する。 ・盆踊りが実現可能か検討してみる。	・前回提案があった駐車場で盆踊りは実現が難しいと判断。 ・コロナ感染予防のため、地域とのかかわりを持つことが難しかった ・年間計画をどのように実施していくか検討する間もなく、コロナ禍で1年が過ぎてしまった ・地域の保育園とこれまでのように敬老会やクリスマスなどを一緒に盛り上げていただきたかったが、感染予防もあり声掛けさえできなかった。	・地域との結び付きが出来つつある中、コロナが発生して以前より距離ができた点もある	・晴天に駐車場で体調に考慮しながら、車の交通の観察や保育園の様子を窺ったりして、認知症の方でも地域を知ることができる。 ・地域の方々へ挨拶が継続できるように接遇について勉強会を行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・地域の方々へ2ヵ月に1回程度挨拶を含めた報告の実施。	・前回の改善計画を実践できた。 ・利用者と共に地域の食堂や商店などの資源を掘り起こして、利用者自身の安全安心な在宅支援ができた。	・利用者と共に地域の食堂や商店などの資源を掘り起こして、利用者自身の安全安心な在宅支援ができたことは、とても良い取り組みです。	・行事の年間計画を立て、地域と関わりを持てるようにする。